



第12回研究成果発表会を開催 日本建設技術

日本建設技術（佐賀県唐津市、原裕社長）は4月11日、唐津シーサイドホテルで第12回研究成果発表会を開催した。1年間の研究開発の成果を発表すると共に、後の懇親会では参加者同士で交流を深めた。

発表会では、まず原社長＝写真右＝が「環境分野への注力と異業種との連携が大事である。これからも時代のニーズに合った研究開発を進めていきたい」とあいさつ。



次に、来賓として参加した古川康衆議院議員＝写真左＝が「地元唐津に貴社のような技術開発に立脚した会社があることを嬉しく思う。新たなことに挑戦し続ける貴社は、変化の激しい時代を生き残ってくださる」とあいさつした。その後、原社長が「2014年のあ

ゆみとMBSS工法の改良型」、松尾保成技術研究所副所長が「ミラクルソル水質浄化システムのNETIS技術登録について」というテーマで研究発表を行った。その中で松尾副所長は、「NETISとは民間業者による技術を公共工事に積極的に活用、評価するもの」と説明し、その意義の高さを説明した。懇親会には福岡資麿参議院議員や山下雄平参議院議員も参加し、関係者らと懇談した。